

令和5年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(豊里中学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			数学			英語	
	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
豊里中	56.5	57.7	53.7	47.9	59.5	60.7	48.8	41.3
埼玉県	63.8	60.2	55.5	56.4	59.0	60.8	53.3	50.4

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			数学			英語	
	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
豊里中	7-B	8-C	8-A	6-B	8-C	8-A	8-A	9-C
埼玉県	8-C	8-B	8-A	7-C	8-C	8-A	9-C	10-C

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			数学			英語	
	中1	中2	中3	中1	中2	中3	中2	中3
豊里中		2	2		3	4		1
埼玉県	1	1	1	1	2	2		2

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	中1		中2		中3	
		豊里中	埼玉県	豊里中	埼玉県	豊里中	埼玉県
深谷の子の誓い	・将来の夢や目標を持っている	63.5	60.2	79.5	70.4	80.0	68.1
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	65.4	72.8	76.9	68.2	57.9	66.6
	・誰に対しても進んで挨拶をすることができる	84.6	82.6	89.8	83.1	84.1	84.6
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができる	90.4	88.1	97.4	90.8	84.2	92.1
	・相手の気持ちやその場の状況を考え、やさしい言葉遣いができる	88.4	88.7	100	89.9	94.7	90.2
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	55.8	48.1	71.8	44.1	36.9	43.4
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	77.0	71.4	84.6	69.0	65.8	73.5
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	0.0	14.8	23.1	10.4	5.3	9.8
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	63.5	73.7	79.5	65.2	57.9	58.5
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	70.1	56.9	89.8	47.4	52.6	39.4
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	65.4	65.0	69.2	55.6	50.0	59.2
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	75.0	81.7	79.5	73.8	81.5	80.0
	・授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた	31.7	22.8	0.9	13.9	2.6	15.1
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	57.7	27.2	20.5	12.0	2.6	9.5
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	96.2	93.3	94.8	93.6	100	93.3
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	88.5	94.3	100	94.1	97.3	94.3
	・学級での生活は楽しい	86.5	91.0	94.8	91.4	92.1	90.4

【質問紙分析】

- ・ 深谷の子6つの誓いの数値が県の平均と比べて高い。豊里中では道徳科を要とした道徳教育を展開しており、挨拶運動や靴そろえの声掛けなどを継続しているからであると考えられる。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・ 学習方略に伸びがみられた学級では、家庭学習帳への取組を徹底して1日1ページ取り組ませていた。また、学習を計画的に進められるよう、定期テスト毎に学習計画表を作成し、見届けを行っていた。

【国語】

- ・ 2年生、3年生では伸びが見られ、県の平均にかなり近づいた。3年生では、少人数指導を継続した成果が現れたと考える。2年生では、個に応じた支援ができたことにより成果が現れたと考える。
- ・ 毎時間の、漢字の取り組みを行ったことや生徒間の話し合いの活動を多く取り入れることで、基礎知識の向上につながったと考えられる。

【数学】

- ・ 2年生と3年生では大きな伸びが見られ、県平均と並んだ。これは、1年間習熟度別の少人数指導や、チームティーチング指導を行い、個に応じた手厚い支援ができたことによる成果が現れたと考えられる。
- ・ 定期的に小テストを実施したことで、自分の課題に気づき、家庭学習につなげることができた生徒が多かったと考えられる。

【英語】

- ・ 語彙文法を小テストで繰り返し学習している。
- ・ 既習事項を Small Talk で繰り返し学習している。
- ・ 読解力の向上につなげるため、初見の短い英文を継続して読む活動を行っている。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・ 国語では、文章の比較を通して内容を吟味し、表現の違いや描かれ方の理由を考える活動の回数を重ねることで、題材をより深めていけると考える。また、文法なども継続して定期テストに出題し、授業でも復習を行うなどして基礎知識の定着を図る。
- ・ 数学では、関数領域における正答率が低く、授業では、表、式、グラフを関連づける指導を継続していく。また、実生活の場面と数学の学習を結びつけるような課題を取り入れたり、自分の考えを書き、説明する時間を増やしたりすることで、思考・判断・表現力を伸ばしていく。
- ・ 英語では、上記の内容を帯学習に位置付ける。